



## 金メダリストの言葉

5月1日、三豊総合運動公園で高橋尚子ランニングクリニックが開催されました。トレーニング方法などを指導された後、将来のオリンピック選手を目指す選手たちにぜひ言いたいことがあると自らマイクを持ち「記録が伸びるための3つの条件」を熱く語る場面がありました。

- ◆目標を持つこと……調子の悪いときでも身近な目標を持ちましょう。やる気につながります。
- ◆あきらめないこと……一番苦しいときが一番伸びているときです。途中でやめれば進歩はありません。
- ◆素直な心を持つこと……家族や先生の言うことを素直に受け止め実行しましょう。これが一番大事です。

これは陸上競技だけに限らず、その他のスポーツや勉強にも当てはまることだと思います。シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの言葉だけにずっしりと選手たちの心に響いたことでしょう。

また、下の言葉も、高橋尚子選手の言葉です。上の言葉と重なるところがありますね。

**階段の途中にある無数の小さな夢をかなえていくんです。大きな夢がいきなり達成できるはずがありません。**

高橋選手も、夢の実現に向けて一步一步努力を重ねてきました。高校時代は陸上競技大会の補助員としてトップランナーの活躍に憧れ、大学時代はランナーとしてスピードを養成することに力を注いだといいます。企業に入って小出監督と出会い、マラソンランナーとして一層磨きがかかったのはみなさんもよく知っていると思います。初マラソンで7位に入賞し、1年後には優勝を果たしています。

私たちは、とにかく結果だけを気にします。問題が解けないとすぐに答えを聞きたがります。また、答え合わせ合っていれば、それでよしと思ってしまいます。途中の経過はあまり問題にしません。「終わりよければすべてよし」なのです。

スポーツの選手に限らず、医師や弁護士、教師などの資格を取得するには、たいへんな努力が求められます。それはまさに自分との闘いです。幾度となく自分の才能を疑い、自信をなくし、あきらめようと考えてしまいます。そのつらさに耐えられた人だけに、夢への扉が開くのです。“劣等感”と“自尊心”との間を幾度往復したかは、本人でなければわかりません。「練習すればするほど夢に近づくとと思えば、つらさも楽しさになるんです」という高橋選手に学びたいものです。

※「進級・卒業する生徒に『贈る言葉』－生きる力をはぐくむ名言・名句－(小学館)」から抜粋

ゴールデンウィークも終わりました。5月末には中間テストもあります。勉強すればするほど、練習すればするほど、夢に近づくとと思えば、つらさも楽しさになるかもしれません。がんばってください。

### 参加率85%

 4月29日、授業参観・学級PTA・PTA総会・部活PTAを実施したところ、多くの方のご参加をいただき、ありがとうございました。

授業参観では多くのお父さんの姿も拝見することができ、大変ありがたく思いました。また、今年初めて総会の日に実施した部活PTAにも多くの方が出席されました。これらは、詫間中学校に対する関心の高さであるとともに、詫間中学校への期待の表れでもあると受け止めました。当日いただきました様々なご意見等を踏まえ、より一層、保護者や地域の皆様に愛される詫間中学校をめざしてまいります。

#### 新役員

会 長	武内 康高
副 会 長	片山 千秋
副 会 長	横山 佳典
副 会 長	真鍋 貴在
副 会 長	三崎 一世
席 務	百々 弘美
会 計	松永 一代
教養委員長	安藤 美紀
教養副委員長	則久多樹子
補導委員長	高島 良子
補導副委員長	濱上 純子
健康安全委員長	竹林 千鶴
健康安全副委員長	陶山 美香



<旧役員の皆様お疲れ様でした(右から4人目は前田康志前補導委員長)>